



# えがお

認定 NPO 法人  
たすけあいの会ふれあいネットまつど  
TEL: 047-346-0866  
FAX(専用): 047-346-0088  
E-mail: frm2011@r4.dion.ne.jp  
ホームページ: <http://frm2011.okoshi-yasu.com>

## 集まれ! Genki Senior! 元気シニア

### 2016年度千葉県元気高齢者活躍サポート事業 元気シニア地域ボランティア養成研修会移動サービスコース開催

10月1日(土)2日(日)に松戸市小金北市民センターを会場に開催した研修会では、元気なシニアが移動サービスの運転者に必要な知識と技術を習得。授与された福祉有償運送運転者資格を活かし地域活動に参加されることが期待されます。



車いす操作演習(上)、セダン車両への乗降介助演習(下)



申込まだ間に合います!

#### コース3 生活支援サービスコース

①11/19(土)10時~16時  
②11/20(日)10時~16時

会場:

- ①松戸市民交流会館  
新松戸7丁目192番地1  
☎047-349-6530  
新松戸駅から新成バス新松戸七丁目行坂川バス停下車約5分
- ②松戸市勤労会館  
松戸市根本8-11  
☎047-365-9666  
松戸駅西口から徒歩5分

ふれあい寄付金にご協力ください!  
(2016年11月1日~12月28日)

### 《理事会からのお知らせ》 10.17

#### 1. ふれあいサービス・元気応援サービス新規利用申込を年内中止に

- (1)9月末現在で、20人を超える方の利用申込に対してお応えできず、開始を待っていただいています。当初の見込み以上の利用希望者数の増加、利用者増に見合うだけのボランティア協力者の増加がないことなどが原因です。
- (2)そこで、10月1日に遡り、現在待っていただいている方の新規利用開始を優先し、サービスが定着するまで、当面年内一杯の新規利用申込受付を中止させていただきます。新規利用申込に対しては、利用枠に空きが出るまでお待ちいただきますようお願い致します(待機者リストにカウント)。
- (3)困ったときはお互いさまのたすけあい活動への期待と要望が高まっていることを嬉しく、ありがたく思います。新規利用希望の方には、大変申し訳なく思います。前年に比べ1.5倍の利用者数に急増している事情をご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

#### 2. ふれあいサービス・元気応援サービスの土日祝日を当面中止に

- (1)たすけあい活動は平日実施を原則として実施してきましたが、利用会員のご要望にお応えする形で、土日祝日のサービスが増えてきました。
- (2)このままの状態が継続すると、万一の事故への対応など、安全安心な活動を担保することができません。事務局の体制等が整うまで、新たな土日祝日の利用受付を中止します(現行の透析通院などの特別な場合に限っては継続をします)。

## インフルエンザ予防をしっかりと行い、この冬を元気に過ごしましょう!

### 《毎日の生活で5つの注意をしましょう》

#### 1. 栄養と休養を十分取りましょう

体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。

#### 2. 人ごみを避けましょう

病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。

#### 3. 適度な湿度と温度を保つようにしましょう。

加湿器などで室内の適度な湿度を保ちましょう。部屋の換気も忘れずに。

#### 4. 外出後は必ず「手洗い」と「うがい」をしましょう。

手洗いは接触による感染、うがいはのどの乾燥を防ぎます。

#### 5. マスクを着用しましょう。

人に対してという意味でエチケットマスクともいわれます

### 《インフルエンザ予防接種をしましょう》

65歳以上の高齢者には、流行前1回の接種で効果があると言われていています。予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、効果が十分に持続する期間は約5ヶ月間とされています。このことから11月中の接種は効果も高くなります。なお、65歳以上の松戸市民は接種費用1000円ですみます。

### 《サービス従事会員の予防接種は必須。費用はふれあいネットまつどが負担します》

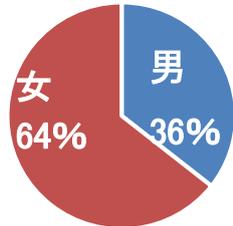
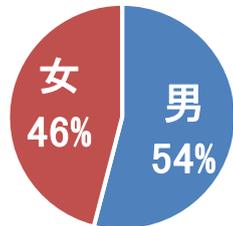
「自分が感染源にならない」ためにも予防接種は必須です(医師から禁止されている方を除く)。接種費用は会が負担します。病院の領収書を事務局に出して下さい。翌月の謝金・給与と一緒にお支払いします。

# 会員の平均年齢～利用会員84歳、協力会員64歳に

最新(2016.9.30)のデータによると、ふれあいネットまつどの協力会員の男女比は、ついに男性会員が女性会員より多数に。利用会員は大きな変化はなく、男女比ほぼ4:6となっています。

## 協力会員

## 利用会員

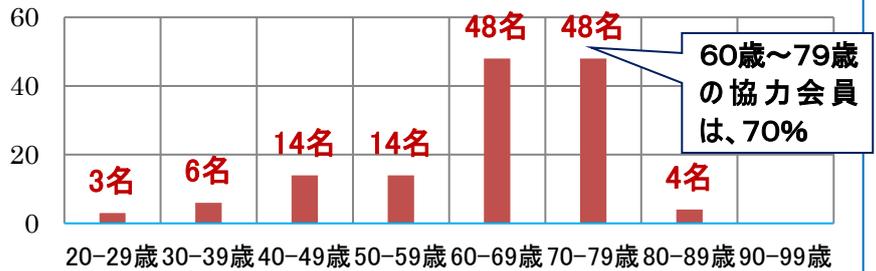


協力会員の平均年齢は長らく65歳でしたが、1歳下がって64歳に。一番数の多い年齢帯は、60歳～79歳で、実に70%を占めます。ふれあいネットまつどが元気シニアのNPOと言われる所以です。

また、グラフは掲載していませんが、協力会員の会員歴をみると、5年以上(～19年)が30%に対して、1年未満が33%、実に会員の1/3になります。こうした分析をもとにした、組織活動の在り方が求められています。

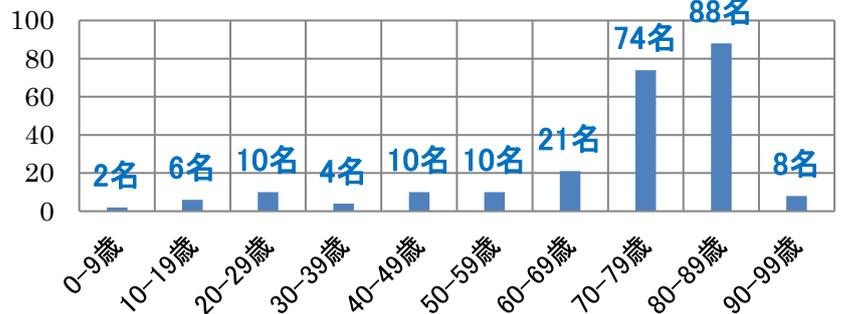
## 協力会員年齢分布

合計137人



## 利用会員年齢分布

合計233人



避難者交流サロンのマイショップを出店。避難者の手づくり品を販売。



ふれあいの居場所みんなんち、宣伝も兼ねてコーヒーを販売、お店の後ろを休憩所に。

## 小金宿ぶらり市へ出店

10月16日(日)、松戸市小金の秋の恒例行事、小金宿ぶらり市へ初めて出店。小金宿の古刹東漸寺境内に150を超えるお店が出店。絵画展、小学生の野点など、狭い参道は大にぎわい。ふれあいネットまつどは街づくりの一環として、避難者交流サロン黄色いハンカチと協働で出店しました。



## まだ間に合う2016秋のイベント・勉強会

松戸と東日本大震災被災地をむすぶ市民交流イベント

### ふれあいさんま祭り2016

被災地宮城県女川漁港から直送のさんまを炭火で豪快に焼いて味わう。みんなんで秋の味覚を味わい、語り合い、交流し、支え合いのある街へ。

**開催概要**

日時:2016年11月12日(土)午前11時～午後2時  
会場:認定NPO法人たすけあい会  
ふれあいネットまつど駐車場  
松戸市東平賀7番地の2 北小金駅北口徒歩3分・スーパーアコレ向い

参加費:お1人様500円(炭火焼さんま、ごはん・汁付き)  
定員:200名様(先着順/予約制)  
申込方法:1.参加申込書(裏面)をFAXまたは電話で  
認定NPO法人たすけあい会  
ふれあいネットまつど  
☎047-346-2052(平日午前9時～午後5時)

2.お支払い(お1人様500円)は当日会場受付でお願いします。

### 住み慣れた地域で暮らすことを支援する医療と介護を目指して 地域包括ケア研究会第2回・第3回勉強会

「社会保険と税の一体改革により、2025年に向けた医療・介護政策シナジが明らかになっています。私たち医療・介護従事者は、制度動向を踏まえながら、地域住民の誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らし、人間らしい暮らしの実現を支援することを使命としています。この方向の高齢者を中心としたグランドデザインが地域包括ケアシステム(医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制)の構築にあり、医療と介護の連携が不可欠となります。そこで、私たちは、①国の動向、先進事例、様々な理論等を学ぶ民間の研究会を立ちあげることになりました。

＜第2回勉強会＞

地域包括ケアシステムの構築と新地域支援事業

一 地域の助け合いの創出は、行政と住民の協働にあり

(日 時) 2016年12月9日(金)18時半～20時半 ※開場18時  
(会 場) 松戸市民会館3階301室 (JR/新京成電線松戸駅東口徒歩7分)  
〒271-0002 松戸市松戸1389番地01、電話 047-388-1237

(講 師) 服部 真治 氏(医療経済研究機構研究員・元厚生労働省健康局長補佐)  
(参加費) 1,000円※当日お支払(定員)100人(申込先着順ですので、お早めにお申込み下さい)

＜第3回勉強会＞

2018年介護保険・医療保険改正とケアマネジメント

(日 時) 2017年1月24日(火)13時半～16時半 開場13時15分  
(会 場) 松戸市森のホール21(松戸市文化会館)小ホール 〒270-2202 松戸市千代田046番地04

「2018年介護保険改正の動向とケアマネジメント」  
(講師) 服部 万里子 氏(一般社団法人日本ケアマネジメント学会副理事長)

「2018年医療保険改正の動向とケアマネジメント」  
(講師) 結城 康博 氏(東横大学総合福祉学部教授)

(参加費) 無料(定員)400人(申込先着順ですので、お早めにお申込み下さい)  
※カンオ計算機株式会社ご協力、今回の参加費は無料になります。

秋のイベント・勉強会の詳細はチラシをご覧ください。



■ 11月会員定例会  
11月25日(金)10時～11時半  
①理事会報告②会員活動交流③介護保険現状ミニ勉強会

■ AED寄付金ありがとうございました(10/1号未掲載分)。渡邊清治・藤田親作・川上柊・鈴木順子(敬称略・順不同)

■ イオン各店毎月11日のイエローシートキャンペーン  
イオン各店では毎月11日は黄色いレシートを発行し、このレシート金額の1%をボランティア団体へ還元(寄付)しています。